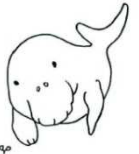


CONTENTS

- 2/3 情勢・名護市議会で施策の継承を
- 名護市長選での取り組み報告
- 4/5 ジュゴン訴訟米原告団来日
- 6/7 署名提出と政府交渉
- 本部港搬出阻止の闘い
- わんさか通信★ジュゴンのわ
- 協力店さんご紹介



とうとう犬年が明けた。

SDCC の皆さんには年頭のご挨拶をしなければならなかった。だが、名護市長選の敗北で暗い年明けになった。みんなが応援していただけに、悔しくて、とても「おめでとう」とは言えない。誠心誠意、未来の子どもたちのためにと、頑張ってくれた稲嶺進さんであった。

また、補選に出て叶わなかった安次富浩さんにも、すまなかった。世論調査では、圧倒的に辺野古新基地反対の声が多く、それが民意であることは間違いない。だが、ゲーム化された選挙でまけてしまった。

しかし、もともと選挙で、民主主義が正しく機能するわけがなかった。それは、幻想だった。いつでも、選挙によってナチズムに走らされる危険性を、国民は負わされていた。昭和の時代がそうであったようにだ。

日本国民は、戦後その反省から、危険性の歯止めとして憲法 9 条を定め、受け入れた。しかし、選挙のゲーム化は変わらず、自由民主党一強独裁体制が作られてしまった。全国の神社組織を集票マシンに、今や安倍独裁政権は天皇を元首にする目的で、9 条破壊を宣言している。

犬年の誓い

その異常な政治信念の裏に見えるのが、一億玉碎思想による、天皇制国家体制護持の絶対命令である。それは、国民を幸せにするためではなく、絶対に明かしてはならない国家機密「皇統」の歴史の正当性を守る、ということだ。しかし、その正当性を守るには、ジュゴンを守護神と崇める琉球の平和主義を、歴史ごと処分する必要がある。そして、同時に憲法 9 条の平和主義を打ち消し、再び、美しい神国に戻さないとはいけない。

と、このような、およそ考えられないことを考え、安倍政権は動いている。辺野古新基地問題ばかり、奄美、宮古、石垣、与那国の自衛隊配備ばかり、森友学園問題ばかり、全てが、国家の嘘がバレることを恐れて仕掛けられているということである。ならば、ジュゴンの歴史でもって、嘘を暴くしかない。

今年は犬年である。犬は、ペットのイヌではない。シュゴンを表わす「大」に点をつけた「犬」は、シュゴンのように大人しく生きる人を、表わした字である。犬が、この国を救わねばならぬ。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



名護市長選挙

「名護市長選挙大差で敗北～安倍内閣の総攻撃を跳ね返えす力を」

2月4日名護市長選挙は3458票と予想以上の大差で辺野古基地建設反対派が敗北しました。投票率は前回比+0.21%の76.92%で、稲嶺進16931票、渡具知武清20389票。市議補選でも安次富浩15982票、仲尾ちあき19782票と敗北しました。地元紙は「『基地疲れ』経済を重視」（沖縄タイムス社説）、「敗者は日本の民主主義」（同・視点）、「新基地容認は早計だ」（琉球新報社説）と主張しています。期日前投票が有権者の44.4%。選挙運動で争点を明らかにするための7日間が、異常な動員合戦に。立ち遅れた稲嶺陣営が敗北。地元紙の記者などが「出口調査に当たってこない」というほど従来以上に周囲の目を気にする投票行為。NHK沖縄は、4日の投票締め切り後に「投票日の出口調査は稲嶺リード」と放送していましたが、当日投票は有権者の32.52%と低投票率でした。しかし、事前の世論調査や出口調査（沖縄タイムス、琉球新報、共同通信と共同）では「辺野古の基地建設反対」は64.6%、しかし、これが投票行為に結び付きはしませんでした。

なぜ、大差で負けたのでしょうか。支持者への働きかけの

遅れです。相手候補は稲嶺市政へのデマと中傷を行う一方、公開討論から逃げ回りました。小泉進次郎（2回）をはじめ自民党国会議員100人が地元企業に徹底して入りました。「辺野古基地建設は市長に止める権限はない」「建設阻止だけを言っても工事は進む。今後の生活が大事。政府と協調し、米軍再編交付金で経済の活性化を。リゾート観光の充実を」と。警察は一方的に弾圧するが、相手候補の選挙違反には目をつむる。

夏の辺野古埋め立て作業に向け、これからが正念場です。「工事はまだ予定の1%。オスプレイ100機が飛び交うところで観光業が成り立つわけがない」（翁長知事）。この悔しさを安次富選挙事務所に集まった仲間は、いっそう辺野古基地建設を阻止する決意に変えました。悔しさで涙まみれになった東恩納琢磨議員は、名護市議会で稲嶺市長が進めてきた施策（美謝川の付け替え工事のストップ、ジュゴン訴訟の利害関係人として国防総省に要求したことなどの履行）を新市長に要求することを確認しました。9月名護市議会議員選挙で過半数を実現することで稲嶺市政を継承し、11月翁長知事選挙勝利しましょう。

（事務局 蛭川義章）

名護市長選挙支援にとりくんで



1月18日から23日までの6日間、ススムさん支援活動に参加しました。

名護市街地の「ススム会（やんばる勝手連）」の事務所へ。すぐに、「稲嶺進」と候補者の名前を書いたノボリなどは従来、沖縄の選挙では黙認されてきたが、今回は警察が厳しく取り締まり、街頭での選挙運動に圧力をかけてきていることを聞きました。代わって「未来へ進む」というノボリを緊急に作成して使っていました。

それから毎日7時30分からの「朝立ち」と5:00からの「夕立ち」。反応は日々よくなっては行きました。日中は、手作りプラカードをつけた自転車に乗っての宣伝。対向車に手を振り「ススム 未来へススム 市民とススム 平和が一番ススムです」とコールしながら集落の奥、路地の奥まで宣伝しました。お年寄りや子供連れの女性がじゅごん折り紙を受け取ってくれ、「ススムさんを信用しているさあ」との反応。一方でどこへ行っても公明党の運動員とみられる二人組が戸別訪問しているのに出会いました。あと日ハムキャンプが名護から撤退した。経済的打撃は大きい、などのデマが執拗に

流布され、信じている方が結構多いこと、などの情報に危機感を持ちました。

選挙結果は大変残念ですが、名護市民の基地反対の世論は不変です。がんばろう！（関西 松島洋介）



「未来へ進む」「じゅごんを守ろう」のプラカードは、大人気。ジュゴン帽子も活躍しました。

「自民党市議団に嫌われた不正投票監視団」

連日、雨の降る中、市民会館の敷地に、立て看板「自由な心で自由な投票」を出し、5本の旗「不正投票監視団〜押しつけ投票は違反です」を各椅子に括って座り、選挙会場に入る人数をカウントしました。私たち「やんばる勝手連」と統一連のメンバーが、午前8時半から午後8時まで3交代、雨と海風に吹かれながら入ってくる車を目視。のべ120人が取り組みました。選管とのカウント誤差も、ほぼなくなるほど上達しました。

緊張した日々でした。初日の夜、投票所の入り口に若者10数名がたむろ。よく見ると紙と携帯を持って電話。呼び込みとチェックです。選管事務局に「自由投票妨害罪だ」と抗議。彼らは翌日から離れたところに駐車し、電話をしていました。二日目には、自民党市議団団長ら2人が私たちに退去を要求。選管に抗議に行きました。選管事務局長には運動の趣旨を語り、理解を求めています。自民党市議らと1時間にわたり議論、「自分たちもここに座る」と怒って帰っていき

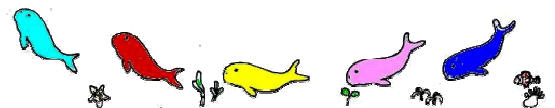
ました。また、スタッフに暴言を吐き、撮影する2人の挑発者が三日間にわたり来ました。稲嶺選対本部からは激励と感謝されましたが、自民党が監視団を嫌がっていた理由が選挙結果からよく分かりました。池宮城紀夫弁護士や辺野古弁護団との連携がスタッフにとっては心強かったです。

(事務局 蛭川義章)



オスプレイ墜落から1年集会

集会決議では、昨年12月13日のオスプレイ墜落以降も、普天間所属オスプレイが今年8月にオーストラリアで墜落し、新石垣空港など民間空港にたびたび緊急着陸したことを踏まえ「構造的な問題を抱えた欠陥機」と断じた。また、来沖中のVFP(平和を求める退役軍人の会)からも連帯のアピールが。



東京

12・2 辺野古に行こう！！ 新基地建設阻止 一名護市長選挙勝利めざしてー

12月2日(日)、東京、文京区民センターで「辺野古に行こう！新基地建設阻止 一名護市長選挙勝利をめざしてー」の集会が開催されました。

沖縄平和運動センター事務局長の大城悟さんから新基地建設阻止の取り組みの現状が報告され、連帯して名護市長選挙を勝利しようと訴えられた。連帯発言に各地域の方からの発言がありました。

最後に、スペシャルゲストとして東京に滞在中のSDCC 共同代表の海勢頭豊さんが登壇し、12月1日に政府交渉をした事、米ジュゴン訴訟の弁護団が来日している事を報告した後、特別に会場の皆さんの手拍子に合

わせアカペラで「辺野古旅情」を唄いました。皆さんとても喜んでくださいました。(首都圏 矢敷克子)



ジュゴン訴訟米原告団来沖・来日の意義

2月4日の名護市長選挙は、辺野古新基地建設に反対し、環境保護を求める現職の稲嶺進市長が破れる非常に残念な結果となってしまいました。今回当選した渡具知武豊さんは、辺野古新基地建設については、県と政府の裁判の行方を見守る、という立場ですが、日本政府は新市長に圧力をかけて、なし崩し的に基地建設を進めると予想されます。

それゆえ、昨年11月27日から12月4日の日程で、ピーター・ガルビンさんをはじめとするジュゴン訴訟の米国側の原告、Center for Biological Diversity (CBD)の9名の来沖・来日の成果を今後どう活かせるかが、基地建設阻止に向けての大きな鍵となります。

CBDの来沖・来日は、去年8月の米国控訴裁判所によるジュゴン訴訟差し戻し判決を受けてのものでした。目的は大きく3つあり、それぞれ重要な成果に繋がったといえます。

まず目的の一つ目は、差し戻し判決の内容と意義、そしてこの後予想される国防総省との「協議」について CBD が沖縄／日本側に説明することでした。

ジュゴン訴訟への期待は高いのですが、前例のない裁判であり、沖縄／日本においてその内容はきちんと理解されていません。特に国家歴史保存法（NHPA）のもと行われる「協議」については、イメージを持つことも難しかったと思います。CBDの説明を通して、少なくとも協議の仕組みの存在を、県や名護市に認識させることができました。事実、名護市では、市や県への協議への参加を求める議会決議に繋がり、稲嶺市長から、名護市として国防総省に対して、協議参加の意思を示し、そのための現地調査の許可を求める要請を行っています。



12/3の政府交渉で発言する生物多様性センター（CBD）のピーター・ガルビンさん



二つ目は、護岸工事が進む建設の状況、建設反対運動の現状、そして日本政府の対応を CBD として把握することでした。

護岸工事の現状はまさに「既成事実」となり、ジュゴン訴訟に不利になることを CBD は認識したと思います。さらには環境アセスの専門家の匿名性の問題や、環境省や文化庁が物を言えないという日本政府の問題も再認識したと思います。これらは裁判のなかで活かされていくでしょう。

三つ目は、CBDが全力で闘う決意であることを沖縄／日本側に示すこと、沖縄／日本の市民社会との連帯を高めることでした。

弁護士3人を含む9名という大所帯での来沖・来日は、CBDの決意を明確に表していたと思います。またNHPAを使い、米国政府と交渉し、成果を納めてきた先住民族チュマシュ族のマーティー・ロチャさんの参加は、CBDが沖縄の立場を理解し、戦略的に取り組んでいることを示していたと思います。

来沖・来日の最終日に国会議員会館でマーティさんと海勢頭豊代表が会い、基地建設阻止に向けて協力していくことを確認しました。その二人の姿が今回のCBDの来沖・来日の意義を最も象徴していたと思います。

米国に戻った CBD は基地建設阻止に向けて更なるキャンペーンを展開しています。稲嶺市長が在職8年の間に積み上げたジュゴン保護の実績は揺るがないものです。SDCCとしても、ジュゴン訴訟の動きに連動しながら、効果的な取り組みを展開していきます。（国際担当 吉川秀樹）



11/30 ジュゴン訴訟、米側の原告団がシュワブゲート前へ Wishtoyo 族のお祈りを捧げてくださったマーティさん

東京

＜ジュゴン訴訟原告団が政府交渉＞

12月4日、ジュゴン訴訟団との意見交換会（うりずんの会主催）が衆議院第1議員会館でありました。うりずんの会からは、衆議院議員・赤嶺政賢、玉城デニー、参議院議員・糸数慶子、伊波洋一の皆さん。ジュゴン訴訟原告団からはピーター・ガルビンさんら7人（生物多様性センター、先住民・チュマシュ族）と真喜志好一さん。ジュゴン保護キャンペーンセンターの3人。政府からは、防衛省、環境省、文化庁、外務省。

生物多様性センター（CBD）のピーター・ガルビンさんから、今回の来日の目的は「（5月24日の差し戻し審に向けて）日本のアセス法の実施状況を把握するためである」との説明がありました。

追及の重点は、ジュゴン個体Cの行方不明問題。「人間活動がジュゴンに影響を与えていることは国際的に自明なこと。そのことを検討すべき科学者の氏名を公表しないのは科学的調査の国際規範からしてもおかしい」と厳しく追及しました。

防衛省は「個体Cの行方不明の原因は検討する。氏名の未公表は、セキュリティの問題で専門家との約束だ」とタジタジ。さらに、「セキュリティの為に氏名が未公表なら、国会議員などで構成する委員会でも氏名を公表すべき」と追及しました。

また、「米国では国防総省の事業を他の省がチェックする。日本の仕組みはどのようになっているのか」との質問に、環境省は「個別案件には意見を言わない」と防衛省丸投げの実態をさらけ出しました。そして、「大きな規模での海草藻場の移植の成功例はあるのか」との追及に、環境省は「ない」と言わざるを得ませんでした。先住民のマーティさんから「沖縄の声が届いていないのか悲しい。日本政府が米国・米軍に国家歴史保存法を侵すように求めている」と政府の姿勢を批判しました。

時間がオーバーする中で、ジュゴン訴訟原告団の真喜志さんから「要請文への回答を文書で出すように」「奥港からの海上輸送はアセス書のどこに書いているのか明らかに」との2点を要請し、約束させました。

米国原告団が日本政府の非科学的で、かたくなな姿勢を体験したことが、5月地裁で国防総省を追求する上で、意義があったと思いました。ピーターさんが「米国の裁判で日本のアセスが通用するとは思わない」との発言が、今回の来日で見たこと、感じたことの成果を表していると思いました。（事務局 蜷川義章）



海勢頭豊代表（左）とマーティさん



ジュゴン裁判報告会に参加して

「ジュゴンは沖縄の子どもであり、沖縄の人々にとって聖なる存在であり、ウチナンチューそのものである。しかし、日本という国は米国に対して精神の象徴となっている場所を壊してもよいという許可を出すことがどうして出来るのか。そういう事はあってはいけないと思う。だから私たちは黙ってはいけないと思う。声をあげていかなければならない。なぜなら、そこに私たちが護るべきものがあるからだ・・・。」これはチュマシュ族のマーティさんの沖縄の人々に向けてのメッセージである。

辺野古座り込みのおじいちゃんやおばあさんの顔が次々と浮かんで来て胸が熱くなった。私たちが受け継いでいくべき文化そのものを壊され続けていることに改めて憤慨し、

大きく声をあげていきたい。

原告団の創設者で生物多様性センターのピーター・ガンビルさんの「夢は辺野古沖でジュゴンと一緒に泳ぐこと・・・」私と同じ夢だ。決して諦めずに行こう。

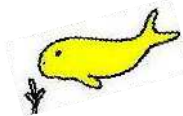
（沖縄県 高垣縁）



12月2日 那覇市の自治会館にて

報告

12月1日 署名を提出しました。



昨年12月1日に防衛、環境、外務省と交渉しました。そして、新たな署名「沖縄ジュゴン、ヤンバルクイナ、ノグチゲラを守ろう」(呼びかけ：ジュゴン保護キャンペーンセンター、ジュゴン保護基金。賛同：沖縄環境ネットワーク、海の生き物を守る会)を1万1千739筆提出しました。辺野古テント村、「ヘリパッドはいらない」住民の会など多くの団体個人から署名を寄せていただきました。

今回の交渉は今年5月のジュゴン訴訟と7月の2018年世界自然遺産登録を意識して取り組みました。ジュゴン訴訟は、「他国の問題なのでコメントは差し控える」と防衛省は沈黙。15年7月以降行方不明のジュゴンCは「工事の影響ではないが、原因は不明」と弁解のみ。自ら作成した環境影響評価書の保全措置「生息範囲に変化が見られたときは工事との関係を検討し…」を無視して、2年以上経った今も環境監視等委員会で議論していません。また、本部港などからの石材の海上輸送もジュゴンA、Bの生息に影響を与えています。「搬送船に監視員を」(保全措置)との我々の追及に頭をかいていました。

世界自然遺産登録では、外来種対策が重要です。12月4日の週からIUCNの登録審査が始まる中で、辺野古埋め立て土砂の外来種対策について追及しました。

「県外からの埋め立て土砂の搬入時期が決まっていないので委員会議論はしていない」「世界自然遺産は環境省のターゲットだ」(防衛省)と居直っています。環境省は「IUCNから照会がきた時に検討する」と困っています。また、米軍から手渡されている北部訓練場内の希少種分布の調査結果(自

然資源管理計画)は、墨塗りが多く科学的な資料になっていません。米国の情報公開法で入手した正本を環境省に示しながら「日米間に信頼関係はあるのか」と批判しました。

オスプレイの住生活や自然環境への影響について「他の機種と変わらない。防衛省のHPに書いてある」(外務省)との答弁に、女性スタッフからも「あきれてものも言えない。住民目線でものを語るべきだ」と痛烈な批判が出ました。沖縄県が要請している日米地位協定改定については「改定は困難。運用の改善で」との発言に、「住民の立場に立って、政治を突き上げるべきだ」と強く要求。海勢頭代表は「米軍人も不安がっている。日常的に家の上を飛び、不安で仕事にならない。保守系も疑問を持っているこの頃だ」と勇気を出すように激励し、交渉を終えました。



ご協力店 紹介

南国料理・泡盛・沖縄そば



「島結」

神奈川県藤沢市にある沖縄料理のお店で、仲の良いご夫婦が笑顔で迎えてくれるアットホームなお店です。開店10周年を迎え益々張り切って営業中です。

出会いは、2008年8月に藤沢でイラスト写真展を開催したときに、宣伝のために地域の沖縄料理店を回った時でした。それ以来、お店に募金箱を置いてくださり沖縄のジュゴン保護をサポートしていただいています。是非一度、泡盛と美味しい料理をいただきに来店してみてください。

〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢3-3-29
小田急線藤沢本町駅徒歩1分
TEL&FAX 0466-65-4041
営業時間：18:00~23:00頃(ラストオーダー22:30)
定休日：月曜日・火曜日
HP：<http://blog.goo.ne.jp/shimayui>
ブログ：<http://blog.goo.ne.jp/punkitchen/c/6255ac330a4e9aa45ff62c2c740d59eb>



沖 縄

辺野古埋立反対！ 本部町は港を使わせるな！



わが町本部町の本部港塩川（塩川港）からの辺野古への砕石海上搬出手続きが進められているとの情報が昨年11月8日の県民会議と県港湾課との交渉の中で明らかにされた。

翌9日、急遽本部町島ぐるみ会議のメンバー約20名が本部町建設課長、本部港管理事務所長等と経過確認の交渉。（当該港は県の港で県港湾管理条例の下にあるが、条例で岸壁使用許可や荷捌き地使用許可の権限が本部町に委譲されている。）2回の交渉の中で、そもそも塩川港における岸壁使用許可申請の手続きが従来から省略されており、運用は辺野古への砕石の搬出元でもある「琉球セメント（株）」に丸投げされ、行政手続条例で義務付けされている許可にあたっての「審査基準」も設定されていないこと、また、港湾全体の管理運営を「北部港運（株）」が取り仕切り、県条例に抵触する使用実態があることなどが判明。

本部町島ぐるみ会議は、あまりにも杜撰な事務運営をしている本部町への追及、町内各所へののぼりの設置、学習会や庁舎前集会、住民説明会の開催要求、質問状の提出などを通じて、住民の知らないうちに、そして安易な使用許可見切り発車を許さない取り組みをすすめ、当初計画されていた11月下旬からの搬出開始を阻止した。

しかし、我々の連日の役場訪問、継続交渉の要求に逃げまわった町長・本部町当局は、12月7日突如「審査基準」を公示し、11日には岸壁使用を許可し、防衛局は15

日に1回目の海上搬出を強行した。

以降、現時点（2月5日）までに9回搬出している。塩川港に国道を挟んで隣接する琉球セメント安和鉱山からおおよそ15台から17台の10トンダンプが接岸した台船にピストンで砕石を運び込む。作業は8時から正午までに約10往復する。しかし、この積み込み作業を遅らせれば、1回の搬出量は減少する。本部町島ぐるみメンバーや時には辺野古ゲート前に座り込む市民とともに県警機動隊による規制と対峙しながら文字通り水際での阻止行動を展開している。

また、全く改善されない不当な港湾管理運営に対して、県及び本部町に住民監査請求を起こしている。

（本部町 高垣喜三）



㊦んさか通信★ジュゴンの㊦

元気の源・サトウキビ



只今沖縄はサトウキビの収穫期真っ最中。24時間稼働する製糖工場からは風に乗って甘い香りが運ばれてきます。

ご存知サトウキビの生産日本一の沖縄、その中でも一番の生産量40%を占めるのが宮古島です。生産農家の高齢化が進み、収穫作業は重労働。

鎌で葉を切り落として（葉を落とす専用の丸状の鎌が売っています）、斧で根元から切り落とし、人の背丈ほどあるキビを一本づつ集めて重ねて縛ります。

収穫作業の負担を無くし農家の減少を食い止め、生産振興をと導入された収穫機が「ハーベスタ」。ドリルが突いた戦車みたいな風貌です。

年々利用する農家が増えています（約60%）が、楽ではあるけれども手狩りの方が1トンあたりの売り単価はだいぶ高いそうです。

手狩りのキビ刈り体験に年に1回東京から大学生がやって来ます。ハーベスタ利用が増え体験出来る畑も限られてきましたが、畑では高齢者と言われるお歳のおしい、おばあの労働力に都会っ子は完敗です。ほんとうに頭が下がります。

美味しいお砂糖をありがとう！

（沖縄・小平）

<首都圏>

・2/25(日)「辺野古新基地建設NO 護岸工事・土砂投入で海を殺すな 2.25 首都圏大行動」14 時集合 15 時デモ出発
@東池袋中央公園(池袋サンシャイン 60 隣)
主催: 2.25 首都圏大行動実行委
・4/20(金) 防衛・環境・外務省との交渉
・4/21(土)~22(日) アースデイ東京 2018
10 時~17 時 @代々木公園

《 今後のスケジュール 》

<関西>

・4/8(日) メディアは何を伝えているか? 「沖縄の今を知る」
@大阪大学会館講堂 資料代 1000 円
パネリスト 沖縄から、儀保 昇さん、泰 真さん ほか
・4/8(日) 海勢頭豊 ライブ&トーク 14 時開演
@本澄寺(高槻上牧) 前売り 一般 1500 円
11 時~13 時 境内でアトラクション(無料)

じゅごん茶話会のご案内

こんにちは。今年もじゅごん茶話会を続けます。
辺野古のこと、じゅごんのことから、平和、人権、環境など
様々なことをゆんたく(おしゃべり)しながら、学び、考え
出来ることをして行けたらと思っています。
どうぞ気軽にご参加ください。

今後の予定

2月23日(金) 19時~

(※「いのちの海 辺野古大浦湾」を上映します)

3月29日(木) 14時~

場所: SDCC 関西事務所(JR・京阪・地下鉄京橋駅下車)



ジュゴンも参加☆ お茶を飲みながらゆんたくします

SDCC第18回総会

第 18 回の SDCC 総会を、今年は大阪で開催します。沖縄から、海勢頭豊代表、吉川秀樹国際担当(ジュゴン訴訟通訳)が参加します。
総会では、名護市長選挙の総括とジュゴン訴訟の現状を報告し、今後の取り組みなどを議論します。会員外の方もご参加いただけます。参加費無料です。皆様のご参加お待ちしております。

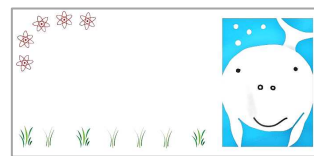
日時 3月25日(日) 午後2時半開始
会場 ドーンセンター セミナー室

一筆箋 ジュゴンの伝言VOL.3が出来ました!

1冊200円



表紙



かわいい
ジュゴンで
お便りを



お申し込みは下記事務所まで。ご注文お待ちしております!
イラストは3種類。同柄8枚×3種類で合計24枚です。
<送料> 1冊92円 2冊~3冊140円 4~5冊205円

会費(2000 円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084

Editor's Note

名護市長選は、残念な結果に終わりましたが、再編交付金に頼らないまちづくりを続けた 8 年間の稲嶺市政は、名護にとどまらず、平和を願う多くの人に勇気と希望を与えてくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。ジュゴンの海を必ず守りましょう!

なお、名護市長選挙の取り組みを報告するために、今号の発行日を1月末から2月中旬に変更しました。次号は4月はじめごろの発行となります。ご了承ください。(山根)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.96 2018年2月13日発行

ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)

〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21

第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377

○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp

(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302

TEL/FAX 06-6353-0514

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!